

みちのく未来通信

1期生 94名が進学！
夢にむかってそれぞれの道を歩みはじめました！



2012年4月、希望の進路を叶えた94名のみちのく未来基金第1期生が、夢に向かって歩み始めました。当基金では3月までに高校3年生の震災遺児100名から給付の申請を受け、うち94名が進学決定。生徒達はそれぞれの進学先で新生活をスタートさせています。この一年、決して勉強に集中できるような環境ではない中で、将来について真剣に考え見事合格を勝ち取った彼らに対して、心から拍手を送ります。進学、本当におめでとうございます。

一方で、来年再チャレンジをする生徒達もいます。彼らの来春の夢の実現も、事務局一同心から祈っています。皆が悔いなく自分の信じた道を歩んでいけますように！

みちのく未来基金は、設立の準備段階であった昨年8月より、岩手・宮城・福島の3県の沿岸部の高校を中心に訪問。先生方のご協力を得ながら生徒達へ基金の案内をして参りました。結果、100名の生徒達に基金の声を届けることができたのは、彼らを側で支える先生方のご協力があったからこそと感謝しております。

今年度は4月から3県の高校を訪問し、早速2期生のエントリー受付を始めております。

みちのく未来基金はこれからも、目標に向けてチャレンジする生徒の夢を応援していきます！

県別進学者状況

(人)

	申請者数	進学者数
岩手県	35	35
宮城県	58	52
福島県	6	6
栃木県	1	1
合計	100	94

県別進学先内訳

(人)

	大学	短大・専門学校
岩手県	24	11
宮城県	27	25
福島県	3	3
栃木県	1	0
合計	55	39



▲第1期生の集いでの集合写真（於：宮城大学）

第1期生の集い開催!

～友達と知り合い

自分と向き合う時間となりました～

◆3/24(土)～25(日)、東北自治研修所・宮城大学において、1泊2日で「みちのく未来基金 第1期生の集い」を開催しました。この集いは、みちのく生同士が横のつながりを築き、自分の夢について改めて考えるきっかけになればと企画したものです。国公立の後期合格発表直後の日程だったことや、新天地への引越準備など、生徒達は忙しい中でしたが、51名が出席してくれる会となりました。

◆1日目は、まず心をほぐし互いにコミュニケーションが取れるようなワークを実施。始めはみんな緊張の面持ちでしたが、歌ったり踊ったり身体を動かすプログラムが進むうちに徐々に打ち解け、あちこちで自然と笑い声が聞こえてくるように…。その雰囲気のまま、次は全員で一つの大きな絵を制作。模造紙に自分の未来を表す字を漢字一文字で書き、その周りをみんなで自由に色づけ、最終的に模造紙を繋げて全員で一つの大きな作品にするというワークに、生徒達は次第に真剣な表情になっていきます。手足を絵の具で汚しながらみんなで作り上げた作品は、この時間の濃さとみんなの夢をそのまま表しているようでした。そんな時を過ごすうちに、すっかり素の表情になった彼ら。身の回りのことや将来の夢について生徒達同士が語り合う夜の「語りの時間」は、お互いを深く知り、刺激を受け、自分を見つめる時間となりました。

◆2日目はみんなでランチ作りに挑戦!これから1人暮らしをする生徒も多いみちのく生ですので、手軽で栄養満点のレシピを栄養士スタッフがレクチャー。班の中でうまく役割分担しながら、順調に料理が出来ていきました。その生徒達の手作り料理でランチパーティーはスタート。みんなで作ったおいしい料理をいただきながら、途中お餅つきをしたり、宮城大学のサークルが、仙台の伝統芸能「すずめ踊り」でみちのく生を激励するなど、盛りだくさんのランチパーティーになりました。

集い最後のイベント「門出の会」では、一日目の「語りの時間」で、それぞれが立てた目標を発表。第1期生の木のパネルに、目標を書いた葉っぱ型のシートを貼り、みんなの前で夢を誓いました。壇上での彼らの言葉は、とても力強く胸に迫るものがありました。全員の言葉をそのまま掲載しますので、ぜひご覧ください。

今回出席できなかった生徒達にも、別途交流の機会を設けていきます。

▼ コミュニケーションのワーク



- ・誰からでも信頼されて笑顔のステキな美容師になる。いい大人になる!!
- ・四年間思い切り遊んで勉強して楽しんで地元に戻りたい。将来は陸前高田に恩返しできる人間になりたい!!
- ・とにかく前向きに生きる。そして老人に元気を与えられる介護福祉士になる!!
- ・東京の調理師学校で一生懸命勉強する。食べ歩きをする。実家の食堂を継ぐ!!
- ・英語をペラペラにしゃべれるようになりたいし聞き取れるようになりたい。そして毎日たのしく過ごす!!



- ・目指せ農業改革!!
- ・誰かのためになりたい!!
- ・夢はでっかく!!

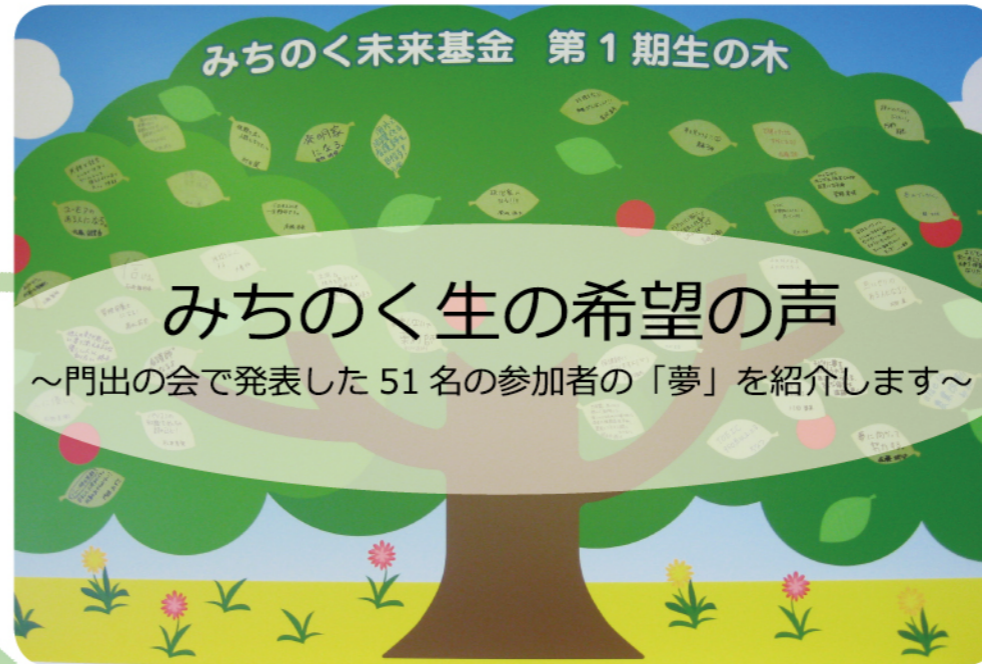
- ・大学で夢を見つけてそれに向かって進む!!
- ・ありがとう 何事にも感謝!!
- ・ユーモアのある人になる!!
- ・パソコンの知識をメッチャ詰め込む!!
- ・自然を知る 自然保護!!
- ・視野を広くする!!
- ・今出来ることを一生懸命やる!!
- ・視野の広い人間になりたい!!
- ・立派な 相手を思うことのできる医療人になる!!
- ・動物(ヒトを含む)を大切に出来る人になる!!



- ・つらい時も笑顔 自立してお母助ける 何事もあきらめない!!
- ・他人の辛さや悲しみに寄り添えるような優しい人になりたい!!
- ・英語を語学としてではなくツールとして使えるようになりたい!!



▲ 大きな絵を制作中



みちのく生の希望の声
～門出の会で発表した51名の参加者の「夢」を紹介します～

- ・信じる!!
- ・人に優しく!!

- ・恥のない人生にする!!
- ・努力できる人間になりたい!!
- ・夢に向かって努力する!!



▲ ランチ作り



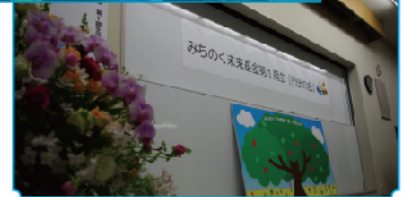
- ・発明家になる!!
- ・政治家になる!!
- ・今よりも成長!!



- ・管理栄養士になる!!
- ・看護師になるよ!!
- ・根気強くがんばる!!

- ・夢は結果より過程のほうが大事だ!!
- ・留年しないで薬剤師!!
- ・海外で活躍できる看護師を目指す!!
- ・保健師になりますよ!!
- ・笑顔の素敵な女性になる!!
- ・今は自衛隊に入りたいと思っています!!
- ・人に好かれる人になりたい!!
- ・TOEIC 950点以上とる!!
- ・みんなからあこがられるSHOP店員になる!!
- ・思いやりのある人になる!!
- ・立派な美容師になる!!
- ・自分自身の未来を自分の手でつくりあげる!!

▼ 門出の会



- ・料理を学ぶ 勉強がんばっぺ!!
- ・夢を見つける!!
- ・かわいい服にかこまれて仕事がしたい!!
- ・英語をペラペラに話せるようになる!!

▼ 語りの時間



多くの皆様に感謝!

日々多くの皆様から、お振込・クレジット・現金書留と様々な形で、総額約2億9千万円のご寄付を頂戴しております。(ご寄付者様内訳 個人:633名、法人:95社、団体:39団体)皆様の温かいお気持ち、本当にありがとうございます。

初年度の給付必要総額は約1億140万円。3年目以降は、2～3億円の給付金額が毎年必要となることが予想されますため、まだまだ広く皆様のご支援が必要となってきます。事務局一同「子どもたちのために」という皆様一人一人の思いをしっかりと受け継いで、生徒達をサポートして参ります。ぜひ今後とも継続的なご支援をお願い致します。

寄付金総額 (4月27日現在)

個人	44,958,633 円
法人	224,322,245 円
団体	28,698,751 円
寄附総額	297,979,629 円

初年度給付必要総額

必要総額	約 101,440,000 円
------	-----------------

- ・現在の給付金額は約5,600万円(2012/4/27現在)
- ・授業料は前期・後期の分納が可能な学校には分納で対応中。今後、後期分の支払が発生。
- ・一部の生徒において、進学先で授業料等の「被災者減免制度」を申請中のため一部未支払あり。

第1期生の集い プログラム

3月24日(土)
13:00～23:00

オリエンテーション
心をほぐすコミュニケーションのワーク
全員で一つの絵を制作
夕食会
語りの時間

3月25日(日)
7:00～15:00

オリエンテーション
ランチ作り
ランチパーティー
門出の会

○月×日(金) 日直 未来太郎



代表理事挨拶

みちのく未来基金は真に東北の未来を支える子供たち、中でも、震災で親を亡くした子供たちの夢を支援しようという趣旨で、カゴメ、カルビー、ロート製菓の民間企業3社が協同で設立した基金です。

昨年夏より手探りながら、まずはこういう基金があることを子供たち、とりわけ今春高校卒業の3年生に早く伝えたいとの思いで対象となる生徒がいそうな沿岸地域の高校を一校一校訪問して歩き、現場に立った活動を進めて参りました。お陰さまでなんとか1期生94名の進学を支援することができました。

サポーターの皆様方の様々なご支援無しにこれだけの多くの子供たちを送り出すことは不可能でした。あらためて心より感謝申し上げます。

すでに2期生への案内をスタートさせており、今期を超える約140名の進学希望者が見込まれています。

私たちは基金の活動を子供たち、サポーターの皆様、学校関係者等に定期的にお伝えすべくニュースレターを発刊することといたしましたので是非ご一読下さい。

公益財団法人 みちのく未来基金

代表理事 長沼 孝義

事務局スタッフ紹介



<前列左から>

ニシヤン〜岩手県の高校を担当。沿岸部への長距離運転も生徒達のためならなんのその♪

ヤスさん〜得意技は関西弁トークの熱血執行理事。話し出したら止まりません!

つじかよ〜基金の企画担当。みんなの心が繋がる、あったかい企画を考えます(^^)

にへいちゃん〜福島県の高校を担当。いつもにこやか、メンバーに明るい華を添えます★

ボス(BOSS)〜仙台出身の我々のリーダー。誰よりも子ども達の事を考える伊達男です。

ジローさん〜休日の顔はバレーのコーチ!子どもたちの夢にむかってトスをあげ続けます。

<後列左から>

ザワさん〜事務所の番人。なんでも屋とはこの人のこと!お問い合わせはこの人へ。

きたさん〜業務の達人。テニスが得意!プレーは錦織顔負けだというウサも...

ヤマケン〜大学生と間違われるほど甘いフェイス!でも実はすごい酒豪です。

ヤツさん〜宮城県の高校を担当。高校からの連絡にはすぐに駆けつけるパワフル営業マン!

シンタロ〜チームのブレイン。とにかく無駄なお金を徹底排除し生徒達に回します!

みちのく未来基金

<< 発起企業 >>

カゴメ株式会社 / カルビー株式会社 / ロート製菓株式会社

<< 支援企業・団体 >>

株式会社アンズコーポレーション / 岩井機械工業株式会社 / エムスリー株式会社 / 株式会社大木 / 株式会社O2 (オーツー)

株式会社カナエ / NPO法人キャットミント / 株式会社サークルKサンクス / 三和工業株式会社 / 株式会社CDG

大地みらい信用金庫 / 富士ゼロックス宮城株式会社 / 北陸朝日放送株式会社 / 株式会社薬王堂 / 八千代電設工業株式会社

ユニ株式会社

<< 後援企業・団体 >>

岩手日報社 / 河北新報社 / 株式会社ガリバーインターナショナル / 鈴木友隆公認会計士事務所 / 福島民報社

公立学校法人宮城大学

(五十音順)

その他ご協力頂いている全ての皆様に感謝致します。

編集後記

基金発足から約半年、94名の生徒達が無事それぞれの道に歩みだしたことを思うと、これまでの様々な思いが溢れます。暑い夏に駆け回った学校訪問、想定2倍の生徒から申請があったこと、合格発表の嬉しい知らせ、そして「門出の会」での立派な姿...

「みちのく未来通信」は、サポーターの皆様と基金を繋ぐ広報誌として、生徒達の様子や基金の活動を定期的にお伝えしていきます。

皆様、今後ともご支援・ご賛同のほど宜しくお願いいたします。

(みちのく未来基金事務局 M.N)

公益財団法人みちのく未来基金

〒981-3135

宮城県仙台市泉区八乙女中央5丁目10番8号

八乙女ユナイトビル2F

電話番号 022 (343) 9996

FAX 番号 022 (343) 9997

E-mail info@michinoku-mirai.org

HP http://michinoku-mirai.org/

